

令和元年度
笠間市教育委員会外部評価報告書

令和元年11月
笠間市教育委員会

目 次

1	目的	1
2	対象事業の選定	1
3	外部評価	1
4	点検・評価結果の公表等	2
5	教育目標	3
6	教育振興基本計画における施策の体系	4
7	点検・評価対象事業一覧	5
8	評価事業の結果	6
9	事業個別評価書	10
参考資料		
	評価事業に関する笠間市教育振興基本計画指標	22
	教育委員会の活動状況	24
	笠間市教育委員会外部評価委員会設置要綱	30

1 目的

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定に基づき、教育委員会がその権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行うことになっています。

また、その結果に関する報告書を議会に提出し、公表することにより、効果的な教育行政の推進と市民への説明責任を果たしていくこととされています。

笠間市教育委員会でも、この法律に基づき、平成30年度の教育委員会事務事業の点検及び評価を教育に関し学識経験者の助言等をいただき、教育行政サービスの質の向上と市民への説明責任を果たしていきます。

2 対象事業の選定

点検評価の対象事業は、笠間市教育振興基本計画に定める事務事業に基づき、平成30年度に教育委員会が行った主要な9事業を対象としました。

3 外部評価

外部の学識経験者で構成された「笠間市教育委員会外部評価委員会」により、各担当課の事業ヒアリングを実施し、評価事業を客観的に検証し、改善に対する意見及び提言等を行いました。

(1) 外部評価の視点

- ①事務事業の信頼を確保するため、内部評価を客観的に検証します。
 - ア. 事務事業の設定は適切か
 - イ. 指標の設定は適切か
 - ウ. 現状の把握や課題の認識がされているか
 - エ. 分析を踏まえ、論理的な方向性が選択されているか

- ②職員の意識改革・事務事業の改善につなげるため、課題解決への取組を検証します。
 - ア. 事務事業が課題解決の手段として妥当か
 - イ. 事務事業の実施方法は妥当か
 - ウ. 事務事業の効果、効率性は適切か

- ③基本計画に記載されている数値目標を含む事業について、指標を評価します。
 - ア. 指標の設定は適切か
 - イ. 目標値、見込値の設定は適切か

- (2) 外部評価委員会 開催日 第1回 令和元年10月25日(金)
 第2回 令和元年10月29日(火)
 開催場所 笠間市役所 教育棟 2階 教育委員会室

(3) 外部評価委員会委員(敬称略)

職名	氏名	備考
委員長	小川 哲哉	茨城大学教授
副委員長	深澤 日出男	元 笠間市PTA連絡協議会長
委員	木村 由希	常磐短期大学准教授
委員	藤岡 理香	元 笠間市教育振興基本計画策定委員会委員
委員	犬塚 晶加里	デザイン会社経営

4 点検・評価結果の公表等

(1) 議会への報告

点検・報告の結果については、報告書を作成し市議会へ報告します。

(2) 公表

報告書を市ホームページにより公表します。

5 教育目標

知性を高め ひとりひとりのもちまえを伸ばす

「知性を高め」とは

学校教育を含め、生涯にわたって学びの力を培うという観点から、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力を身に付けていくことをいう。

「もちまえを伸ばす」とは

その人がもっているよさ（個性）を大切にするとともにそれが発揮できるようにすることをいう。

自然や文化を大切に し 郷土を愛する心をつちかう

「自然や文化を大切に」とは

（市民憲章にあるまちづくりのねがいとも重なる）生まれ育った郷土である笠間の自然や歴史と共にはぐくまれた文化を大切にし、未来に受け継いでいくことをいう。

「郷土を愛する心をつちかう」とは

笠間の自然や文化を大切にし、ふるさと笠間を愛する心をつちかい、郷土の発展に努めることをいう。

豊かな感性をはぐくみ 健やかな身体を養う

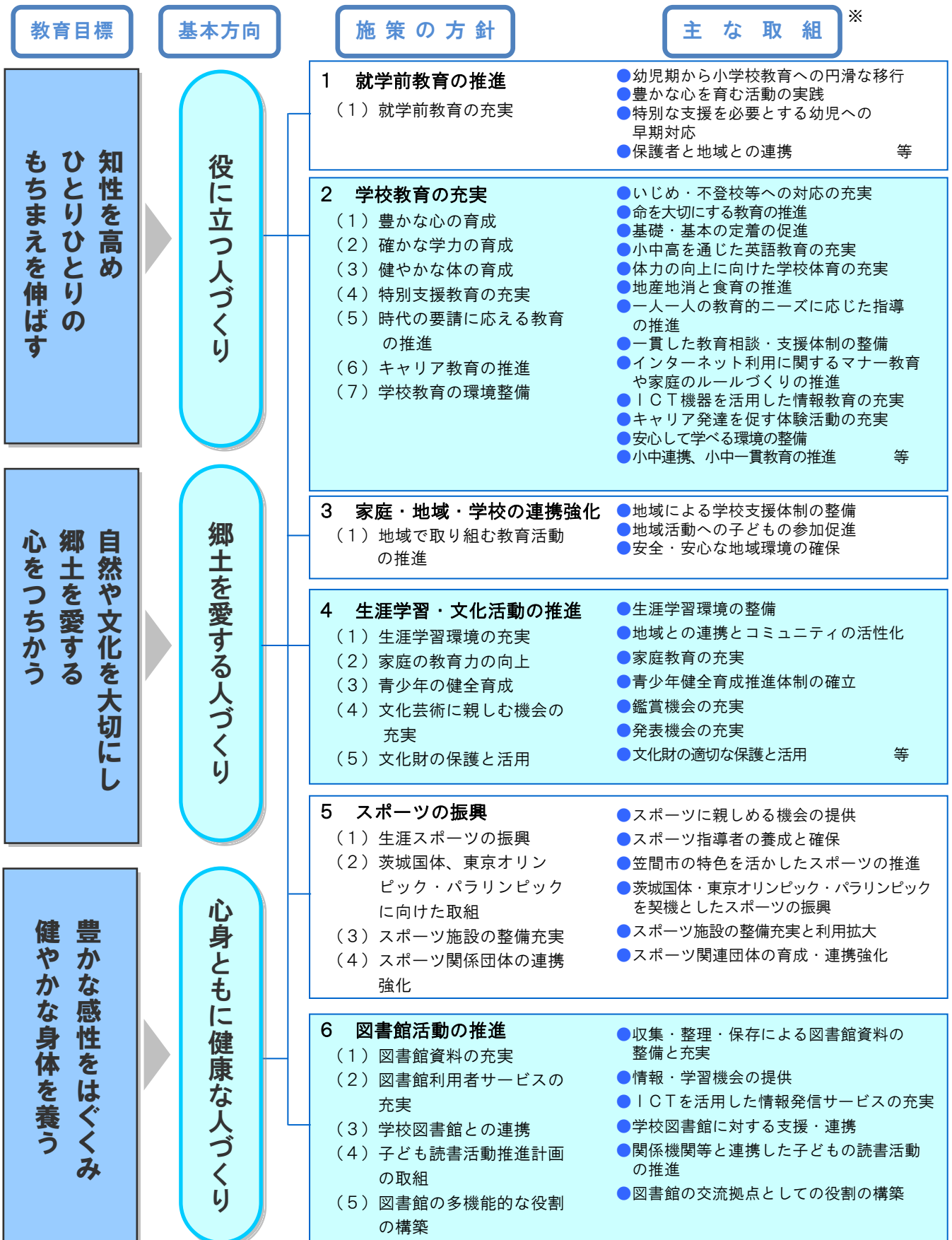
「豊かな感性をはぐくみ」とは

自らを律しつつ、社会の一員としての責任感や規範意識を持ち、他人と共に協調し、他人を思いやる心や感動する心などの豊かな感性(人間性)をはぐくむことをいう。

「健やかな身体を養う」とは

たくましく生きるための健康や体力をいう。

6 教育振興基本計画における施策の体系



※ 「施策の方針」ごとに設定している「主な取組」については、新規・拡充事業がある取組を優先に抜粋しており、さらに数値目標については、毎年、または定期的に観測が可能なものを設定しております。

7 点検・評価事業一覧

※評価日程順

- (1) 図書館
 - ①図書館サービス事業

- (2) スポーツ振興課
 - ②東京オリンピック・パラリンピックホストタウン推進事業

 - ③学校体育施設開放事業

- (3) 生涯学習課
 - ④寺子屋事業

 - ⑤指定文化財保護事業

- (4) 公民館
 - ⑥公民館講座運営事業（岩間）

- (5) おいしい給食推進室
 - ⑦調理事業

- (6) 学務課
 - ⑧適応指導教室事業

 - ⑨学力向上支援事業

8 評価事業の結果

図書館サービス事業（図書館）

評価結果

現行どおり継続

意見・提案事項（抜粋）

- 7年連続で日本一であることは、事業としての有効性が高いので、今度とも努力を続けていただきたい。
- 図書館利用促進の努力など、利用者増に向けて、様々な方面からの取り組みを行い、成果として表れてきていると思う。
- スマホ等と接続した新しいサービスや書籍とメディアの相乗効果を考えた図書館サービスの在り方も今後考えてほしい。
- 時代の流れが早い中、適切な書籍の購入を求める。
- ギャラリーの活用方法や他団体との連携を今後も進め、開かれた図書館へ。
- 今後の図書館運営効率化については、利用時間帯を把握し、適宜時間削減等を検討されるとの説明があったが、その他にも可能な施策を検討されることも必要と思う。

東京オリンピック・パラリンピックホストタウン推進事業（スポーツ振興課）

評価結果

改善し、継続

意見・提案事項（抜粋）

- 東京オリンピック・パラリンピックの成功のために各自治体がホストタウンとして活動する事は非常に意味のあることなので、事業の成功に期待したい。
- オリンピック等に合わせた事業ではあるが、これを起点として今後3カ国との人的・物的な交流はぜひ進めていただきたい。
- アスリートとの交流目的も重要であるが、高齢者を含んだ生涯体育との連携や小学生、未就学児との交流の機会も積極的に設け、交流をきっかけとした様々な視点からの学習に繋げていけると思う。
- オリンピック・パラリンピックを見据えた事業なので大変ではあるが、将来の笠間市に有効となるパイプを構築するチャンスと思われる。更なる戦略を持って取り組めれば良いのではないかと。

学校体育施設開放事業（スポーツ振興課）

評価結果

現行どおり継続

意見・提案事項（抜粋）

- 施設を市民に開放する重要な事業であり，市民の多様な体育のニーズに対応した事業の在り方をより充実していただきたい。
- 活発な利用があり，利用申請についても柔軟な仕組みが取られていると思う。
- 急に使えなくなることがあるようなので，例えば FaceBook グループのような相互発信できるサービスを利用するなど，学校関係者にも入ってもらい，情報共有の仕組みを見直してはどうか。
- 新しい団体などが使用したいときの窓口がどこにあるのか分かり易く開示してほしい。
- 市外在住者への貸し出しも検討してはどうか（使用料等を増額するなど，地域によって使用希望団体の数に差があるので）

寺子屋事業（生涯学習課）

評価結果

改善し、継続

意見・提案事項（抜粋）

- 学習塾がある中，寺子屋を開設する趣旨等がより明示されていくと良いと思う。
- 募集方法を工夫し，利用者が増えることを望む。
- 講義の内容に家庭でも出来る自学の手法の取り組みも必要かと思う。
- 親への子育てのアドバイスを参加している子どもたちを通して伝えてほしい。
- 数値目標で表わしづらいと思いますが，目標があると意識の統一が計られ，アドバイザーなどの意識も向上しやすいのではないかと（子ども達の意欲面も含む）。

指定文化財保護事業（生涯学習課）

評価結果

改善し、継続

意見・提案事項（抜粋）

- 笠間の文化財を大切に保護する事業なので，ぜひ更なる充実をお願いしたい。
- 文化財の修復には大きな予算が必要となる。そのためには文化財をより身近な存在にする必要があり，様々なイベントも考えていただきたい。
- ホームページなどで英文や他の言語による外部への発信もぜひお願いしたい。
- 文化財の情報は市のホームページでも見られるようですが，所在地が分かる地図や写真が入ったようなページがあると良いと思う。
- 文化財の公開方法については熟考しなければならない。数的には十分な数があるが，所有者との協力体制を持って学校の社会勉強のひとつの枠組みに入れ，郷土愛の育みに活用できれば良い。

公民館講座運営事業（岩間）（公民館）

評価結果

改善し、継続

意見・提案事項（抜粋）

- 公民館の事業はとても大切な事業であり、地域住民にとって不可欠なものである。
- 課題としては、幅広い年代層の利用者の獲得、広報の方法、他機関との連携が挙げられるとともに、ニーズを積極的に把握、反映させていく必要があると思う。
- 公民館講座は、将来の人づくりに役立つ事業と思うので、緻密な計画（年代別など）をお願いしたい。
- 講師について、市民の方の中にも専門性をお持ちの方はいらっしゃると思いますので、そのような方が講習、もしくは指導補助員として参加する事も一案と思う。

調理事業（おいしい給食推進室）

評価結果

現行どおり継続

意見・提案事項（抜粋）

- 学校給食での安全管理は極めて大切である。食中毒などを起こさないことは当然であるが、もし起きてしまった時の危機管理を徹底していただきたい。
- 食品ロスの問題への取り組みも考えていただきたい。
- 献立を子どもたちに考えさせるなど、さらなる工夫や充実が必要であると考えます。
- 食材、献立の努力をこれまでのようにお願いします。保護者に対してバランスの取れる食事のアピールや家庭との連携の視点も取り入れることも必要ではないか。

適応指導教室事業（学務課）

評価結果

現行どおり継続

意見・提案事項（抜粋）

- 若年層への取り組みとしては最も重要な事業であり、次世代を育成するためにも、この取り組みを充実させていただきたい。
- 笠間市の将来や、各家庭、地域を考えても、とても大事な事業なので、常にいたわりと努力をお願いしたい。
- 今後こうした教室を利用せざるを得ない子ども達が増えていくことが予想されるので、早い段階からの対策を進め、各個人の将来を見据えた援助・指導をお願いしたい。
- 子ども総合支援センターにおいて、（１）保護者相談、支援、（２）保護者、教員の研修、（３）支援員の充足、研修、（４）卒業児童の相談、援助などの検討が必要であると思う。

- 学習以外を伸ばす取組も良いのではないか。
- 設定されている指標は概ね適切だと思うが、不登校の小学生が増加傾向（平成28年度から平成30年度で2倍弱）であり、一方で、中学生は減少傾向にあるため、この点の対応策を「今後の課題、方向性」に明示すると良いと思う。

学力向上支援事業（学務課）

評価結果

現行どおり継続

意見・提案事項（抜粋）

- よく取り組まれていることが分かり、今後の事業の成果に期待したい。
- 全国学力・学習状況調査の結果を向上させるための施策の重要性は理解できるが、試験のための向上事業では意味がない。新しい学力観（学力の3要素）の実態に合った教育指導を進める工夫も考えていただきたい。
- 詰め込み型の授業（繰り返し問題を解く的な）も一方では必要であるが、何のために学ぶのかを理解し、努力して学んだことが身近な物事に含まれている発見的な楽しみを導き出せたら良いと思う。
- クリエイティブな力、思考力などを育むこと、対話力など、学力だけで計れない「生きる力」の育成にも力を入れてほしい。
- 現場に負担をかけ過ぎることなく、適宜研修、フォローを入れつつ、個々の子どもたちに関わってほしい。

9 事業個別評価書

別紙「令和元年度笠間市教育委員会外部評価対象事業個別評価書」による。

令和元年度 笠間市教育委員会外部評価対象事業個別評価書

事務事業名	図書館サービス事業						
担当部署	市立図書館	事業費	187,019千円				
事務事業概要							
<p>図書館法に基づき、市民生活に必要な図書館資料（図書、記録その他必要な資料）を収集・整理・保存して、市民一般の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資することを目的として図書館サービスを展開している。</p> <p>生涯学習の時代に、市民誰もが学び、市民生活に生かせるよう各種の資料をはじめ、必要な情報や機会の提供を行っている。</p>							
事務事業の目的と手段		指標の設定	H30実績	H30目標			
目的	①対象	利用者・市民	対象指標	各地区市民	笠間 25,292人 友部 35,882人 岩間 14,894人	笠間 25,560人 友部 36,000人 岩間 15,200人	
	②事務事業の意図	<ul style="list-style-type: none"> ・市民生活の質を高め、豊かで安心できるものとなるよう様々な学習機会・情報が得られる。 ・市民、利用者からの資料案内・調査（レファレンス）に的確に応える。 ・事業への参加を通して子育て支援が得られ、読書活動や図書館利用が盛んになる。 	⇨	成果指標	入館者数	笠間 199,126人 友部 208,698人 岩間 71,949人	笠間 260,000人 友部 250,000人 岩間 120,000人
					資料貸出冊・点数	笠間 500,943冊 友部 574,002冊 岩間 155,806冊	笠間 450,000冊 友部 470,000冊 岩間 231,000冊
					おはなし会・読書フェスティバル参加者	笠間 781人 友部 674人 岩間 858人	笠間 800人 友部 1,000人 岩間 371人
				活動指標	開館日数	笠間 268日 友部 297日 岩間 197日	笠間 296日 友部 296日 岩間 296日
					開館時間	笠間 2,675時間 友部 2,965時間 岩間 1,965時間	笠間 2,955時間 友部 2,955時間 岩間 2,955時間
					資料購入点数	笠間 6,268点 友部 6,428点 岩間 4,006点	笠間 6,450点 友部 6,500点 岩間 3,400点
					おはなし会・読書フェスティバル開催日数	笠間 61日 友部 45日 岩間 41日	笠間 69日 友部 62日 岩間 52日
	外部評価委員会の点検・評価						
	事務事業の目的及び達成状況を測る指数は適切か		適切 3名 ・ 概ね適切 2名 ・ 不適切 0名				
事務事業の現状把握及び課題の認識		適切 3名 ・ 概ね適切 2名 ・ 不適切 0名					
分析を踏まえて、論理的な方向性が選択されている		適切 2名 ・ 概ね適切 3名 ・ 不適切 0名					
今後の方向性		<input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり継続 4名 <input type="checkbox"/> 改善し、継続 1名 <input type="checkbox"/> 休止 0名 <input type="checkbox"/> 廃止 0名					

主な意見	<ul style="list-style-type: none">・ 7年連続で日本一であることは、事業としての有効性が高いので、今度とも努力を続けていただきたい。・ SNS の利用は、さらに拡大していただきたい。・ スマホ等と接続した新しいサービスを検討してほしい。今後学校でもスマホ使用が進むと思われる。書籍とメディアの相乗効果を考えた図書館サービスの在り方も今後考えてほしい。・ 図書館利用促進の努力がとても見受けられる。・ 時代の流れが早い中、適切な書籍の購入を求める。・ 期待される場所なので、将来を見越した運営をお願いしたい。・ 利用者増に向けて、様々な方面からの取り組みを行い、成果として表れてきていると思う。・ イベントに関しては、現在は図書館ボランティアの力によるところが大きいとの話であり、今後もその充実（人数、内容）を図るとともに、新たな人材（高校、大学など）との育成、連携を進めていけると良いのではないかと。・ 今後の図書館運営効率化については、利用時間帯を把握し、適宜時間削減等を検討されるとの説明があったが、その他にも可能な施策を検討されることも必要と思う。・ 貸出点数1位が連続しているのは素晴らしいと思う。・ ギャラリーの活用方法や他団体との連携を今後も進め、開かれた図書館へ。・ 新規来館者、これまで行ったことがない方の利用促進が期待される。・ 子ども向けのイベント展示は引き続き力を入れてほしい。
------	---

令和元年度 笠間市教育委員会外部評価対象事業個別評価書

事務事業名	東京オリンピック・パラリンピックホストタウン推進事業						
担当部署	スポーツ振興課	事業費	3, 413千円				
事務事業概要							
<p>国は、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向け、スポーツ立国、グローバル化の推進、地域の活性化、観光振興等に資する観点から、参加国・地域との人的・経済的・文化的な相互交流を図る地方公共団体を「ホストタウン」として全国各地に広げている。本市もホストタウンの理念に基づき、平成27年度から取り組みを進めている。</p>							
事務事業の目的と手段				指標の設定		H30実績	H30目標
目的	①対象	大会参加国・地域		対象指標	ホストタウン登録国・地域	0国・地域	3国・地域
	②事務事業の意図	⇨	大会参加国・地域との人的・経済的・文化的な相互交流を図り、地域の活性化等を推進する。	成果指標	交流事業実施回数	1回	1回
				活動指標	事前キャンプ協定締結数	0回	3回
					ホストタウン登録申請	0件	0件
				誘致活動	3回	3回	
外部評価委員会の点検・評価							
事務事業の目的及び達成状況を測る指数は適切か				適切 1名・概ね適切 4名・不適切 0名			
事務事業の現状把握及び課題の認識				適切 3名・概ね適切 2名・不適切 0名			
分析を踏まえて、論理的な方向性が選択されている				適切 3名・概ね適切 2名・不適切 0名			
今後の方向性 <input type="checkbox"/> 現行どおり継続 2名 <input checked="" type="checkbox"/> 改善し、継続 3名 <input type="checkbox"/> 休止 0名 <input type="checkbox"/> 廃止 0名							
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・東京オリンピック・パラリンピックの成功のために各自治体がホストタウンとして活動する事は非常に意味のあることなので、事業の成功に期待したい。 ・オリンピック等に合わせた事業ではあるが、これを起点として今後3カ国との人的・物的な交流はぜひ進めていただきたい。 ・アスリートとの交流目的も重要であるが、高齢者を含んだ生涯体育との連携も視野に入れていただきたい。 ・オリンピック・パラリンピックを見据えた事業なので大変ではあるが、将来の笠間市に有効となるパイプを構築するチャンスと思われる。更なる戦略を持って取り組めれば良いのではないかと。 ・小学生、未就学児との交流の機会も積極的に設けていくと良いと思う。一緒に走って早さを実感する、言葉は通じないながらも身振りなどでコミュニケーションを楽しむなど、子どもたちなりの関わりの機会をぜひ充実させてほしい。 ・技術の向上以外の視点でも、トップアスリートとの交流の機会は大いに活用して行ってほしい。 ・交流をきっかけとし、様々な視点からの学習に繋げていけると思う。 ・「1年間に運動やスポーツに関わった人の割合」については、実際に取っている数値根拠（大会に出た人、協力した人）と指標名については見直しをされるとのことで、その点は進めていただけると良いと思う。 ・エチオピアの派遣については、派遣された方の経験（体験）が広く県内の他の皆様にも広がると良いと思う。 ・事業の具体的内容を市民に開かれ、機運の醸成に力を入れてほしい。PRが十分か検証・改善が必要である。 ・国際交流の視点からも子どもたちと交流を広げてほしい。 						

令和元年度 笠間市教育委員会外部評価対象事業個別評価書

事務事業名	学校体育施設開放事業						
担当部署	スポーツ振興課	事業費	1, 135千円				
事務事業概要							
<p>国民が健康で文化的な生活を営むうえで、日常生活の中でスポーツ活動を活発に行うことができるように、学校の体育施設を学校教育に支障のない範囲で地域住民のスポーツ活動に供するため、国が昭和 40 年代から奨励している事業である。</p> <p>本市では全小中学校及び高校の体育施設（体育館・グラウンド・武道館）を開放し、地域住民やスポーツ愛好団体等に計画的に開放している。</p>							
事務事業の目的と手段				指標の設定		H30 実績	H30 目標
目的	①対象	市民		対象指標	市民	76, 435 人	75, 000 人
	②事務事業の意図	⇨	市民が身近でスポーツができ、活発にコミュニケーションを図る場とする	成果指標	利用団体数	171 団体	175 団体
			活動指標	開放日数	365 日	365 日	
				学校開放施設数	48 日	48 日	
外部評価委員会の点検・評価							
事務事業の目的及び達成状況を測る指数は適切か				適切 5名 ・ 概ね適切 0名 ・ 不適切 0名			
事務事業の現状把握及び課題の認識				適切 4名 ・ 概ね適切 0名 ・ 不適切 1名			
分析を踏まえて、論理的な方向性が選択されている				適切 3名 ・ 概ね適切 1名 ・ 不適切 1名			
今後の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり継続 5名 <input type="checkbox"/> 改善し、継続 0名 <input type="checkbox"/> 休止 0名 <input type="checkbox"/> 廃止 0名							
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・施設を市民に開放する重要な事業であり、今後とも充実させていただきたい。 ・市民の多様な体育のニーズに対応した事業の在り方をより充実させていただきたい。 ・ネットを使った申し込み等も考えていただきたい。 ・新しい団体などが使用したいときの窓口がどこにあるのか分かり易く開示してほしい。 ・鍵の管理を十分把握できるよう要望する。 ・鍵保管者への報奨費の年度ごとの見直しは検討されていないのか。 ・市外在住者への貸し出しも検討してはどうか（使用料等を増額するなど、地域によって使用希望団体の数に差があるので） ・活発な利用があり、利用申請についても柔軟な仕組みが取られていると思う。（年間計画、空きがあればそれ以外も可。別な枠組みで単発利用申請も可、と理解しました。） ・急に使えなくなることがあるようなので、例えば FaceBook グループのような相互発信できるサービスを利用するなど、学校関係者にも入ってもらい、情報共有の仕組みを見直してはどうか。 ・三者間による情報共有の仕組みはないのか再考してはどうか。 						

令和元年度 笠間市教育委員会外部評価対象事業個別評価書

事務事業名	寺子屋事業						
担当部署	生涯学習課	事業費	5, 316千円				
事務事業概要							
平成21年度より、小学校5・6年生を対象に学校休業日（土曜日）に子どもたちの学びの機会づくり、学習の場づくりの一つとして、学力向上と学習意欲の高揚を目的に開校している。							
事務事業の目的と手段				指標の設定		H30実績	H30目標
目的	①対象	小学5・6年生		対象指標	市内小学校5・6年生数	1,188人	1,264人
	②事務事業の意図	学習意欲の啓発と学力向上		⇨	成果指標	参加者の満足者数	100%
				寺子屋応募者数	130人	240人	
				寺子屋参加者	130人	160人	
		活動指標	寺子屋開設日数	41日	48日		
外部評価委員会の点検・評価							
事務事業の目的及び達成状況を測る指数は適切か				適切 2名・概ね適切 2名・不適切 1名			
事務事業の現状把握及び課題の認識				適切 1名・概ね適切 4名・不適切 0名			
分析を踏まえて、論理的な方向性が選択されている				適切 1名・概ね適切 4名・不適切 0名			
今後の方向性 <input type="checkbox"/> 現行どおり継続 2名 <input checked="" type="checkbox"/> 改善し、継続 3名 <input type="checkbox"/> 休止 0名 <input type="checkbox"/> 廃止 0名							
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・非常に意味のある事業ではあるが、事業の目的、特に学習を受ける児童はどのような子どもを対象にしているのかははっきりしない印象がある。他に同じような事業（低所得家庭対象など）との差別化も必要かもしれない。あるいは逆に他の事業との連携も考慮していただきたい。 ・学力のあり方が大きく変わっているので、情報活用能力等の向上も考えてほしい。 ・募集方法を工夫し、利用が増えることを望む。 ・講義の内容に家庭でも出来る自学の手法の取り組みも必要かと思う。 ・親への子育てのアドバイスを参加している子どもたちを通して伝えてほしい。 ・内容的にもっと利用児童が増えても良い印象を受けたので、そのための（利用者増）の対策を検討・充実させていくことが必要ではないか。 ・寺子屋を利用していない児童は、やはり熟に行っているのか、あるいは利用しない他の理由があるのかを明らかにすることで、今後の方向性を検討する視点が見えてくるのではないか。 ・指標は教育振興基本計画によるものがなく、事業の成果指標として人数が出されています。受講の結果が示せるような指標があるとよりよいと思う。 ・学習塾がある中、寺子屋を開設する趣旨等がより明示されていくと良いと思う。 ・数値目標で表わしづらいと思いますが、大まかでいいので目標があると意識の統一が計られ、アドバイザーなどの意識も向上しやすいのではないかと（子ども達の意欲面も含む）。 						

令和元年度 笠間市教育委員会外部評価対象事業個別評価書

事務事業名	指定文化財保護事業						
担当部署	生涯学習課	事業費	2, 0 1 9千円				
事務事業概要							
文化財は、様々な時代背景の中で、人々の生活や風土の関わりにおいて生み出され、現在まで守り伝えられてきた貴重な財産であり、笠間市に残る文化財の保存・活用を図り後世に継承していく責務がある							
事務事業の目的と手段		指標の設定	H30 実績	H30 目標			
目的	①対象	一般市民 所有者・管理者	対象 指標	一般市民	76, 068 人	77, 271 人	
				指定文化財件数	148 件	148 件	
	②事務事業の意図	指定文化財の保存・活用	⇨	成果 指標	修復等件数	3 件	4 件
					文化財指定件数	1 件	1 件
				活動 指標	補助金交付件数	6 件	5 件
					文化財防火デーに伴う立入検査件数	37 件	38 件
			笠間市文化財保護審議会開催件数	6 日	5 日		
外部評価委員会の点検・評価							
事務事業の目的及び達成状況を測る指数は適切か		適切 1名 ・ 概ね適切 4名 ・ 不適切 0名					
事務事業の現状把握及び課題の認識		適切 2名 ・ 概ね適切 3名 ・ 不適切 0名					
分析を踏まえて、論理的な方向性が選択されている		適切 1名 ・ 概ね適切 4名 ・ 不適切 0名					
今後の方向性 <input type="checkbox"/> 現行どおり継続 2名 <input checked="" type="checkbox"/> 改善し、継続 3名 <input type="checkbox"/> 休止 0名 <input type="checkbox"/> 廃止 0名							
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・笠間の文化財を大切に保護する事業なので、ぜひ更なる充実をお願いしたい。 ・文化財の修復には大きな予算が必要となる。そのためには文化財をより身近な存在にする必要がある。様々なイベントも考えていただきたい。 ・さらにホームページなどで英文や他の言語による外部への発信もぜひお願いしたい。 ・イベント等による収益を上げて、それを予算に回すようなビジネスモデルも考えてほしい。 ・文化財の公開方法については熟考しなければならない。数的には十分な数があるが、所有者との協力体制を持って学校の社会勉強のひとつの枠組みに入れ、郷土愛の育みに活用できれば良い。 ・公開対象の拡大に向けての工夫（子ども、中学生にも楽しめる場となるような資料、パンフレットの作成。ボランティアの育成。外国人観光客に向けてのアピールなど） ・指標の中に「文化財公開」への来場者数の推移（初回から本年度が3回目）が分かるようなものも入れると良いと思う。 ・それぞれの文化財の管理は基本管理者の方と伺いました。文化財の情報は市のホームページでも見られるようですが、所在地が分かる地図や写真が入ったようなページがあると良いと思う。 ・文化財愛護協会に所属しているが、ほぼ最年少で引き継ぐ世代がない問題は、とても深刻に感じている。ぜひ思い切って20代から40代の歴史好き、または今まで興味の無かった層にも刺さる企画、デザインを意識してほしい。 						

令和元年度 笠間市教育委員会外部評価対象事業個別評価書

事務事業名	公民館講座運営事業（岩間）						
担当部署	市立公民館	事業費	509千円				
事務事業概要							
市民の教養の向上や健康増進等を図れるような各種講座を開設し、生活文化の振興や社会福祉の増進に寄与することを目的とするため、同事業を実施した。							
事務事業の目的と手段		指標の設定	H30実績	H30目標			
目的	①対象	笠間市在住または在勤者	⇨	対象指標	講座数	13講座	13講座
	②事務事業の意図	市民に様々な学習機会を提供し、知識の向上、健康の増進、生活文化の振興を図る。		成果指標	開催数(延べ)	46回	50回
				活動指標	参加延べ人数	821人	1,000人
					講座数	13講座	13講座
					開催数(延べ)	46回	50回
				参加延べ人数	821人	1,000人	
講座数	13講座	13講座					
外部評価委員会の点検・評価							
事務事業の目的及び達成状況を測る指数は適切か		適切 3名・概ね適切 2名・不適切 0名					
事務事業の現状把握及び課題の認識		適切 1名・概ね適切 4名・不適切 0名					
分析を踏まえて、論理的な方向性が選択されている		適切 1名・概ね適切 4名・不適切 0名					
今後の方向性 <input type="checkbox"/> 現行どおり継続 2名 <input checked="" type="checkbox"/> 改善し、継続 3名 <input type="checkbox"/> 休止 0名 <input type="checkbox"/> 廃止 0名							
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館の事業はととても大切な事業であり、地域住民にとって不可欠なものである。 ・地域づくりとどの様に結びつくのが少し不明確のような気がする。さらに異世代交流にも拡大していく工夫も必要ではないか。 ・参加者が主体的に取り組める催しもの等をさらに工夫していただきたい。 ・講座の大枠はあるが、内容、進め方をもっと戦略的に練った方が良いと思う。 ・講座の回数や参加人数の目標は大事ではあるが、受講者が地域に帰ってからの「まちづくり・人づくり」に寄与できる内容を考察する事も大事である。 ・公民館講座は、将来の人づくりに役立つ事業と思うので、緻密な計画（年代別など）をお願いしたい。 ・乳幼児を持つ親子、家庭向けの講座も多くのところでは実施しているので参考にしてみてもどうか（つどい、座談会等） ・課題としては、幅広い年代層の利用者の獲得、広報の方法、他機関との連携が挙げられるとともに、ニーズを積極的に把握、反映させていく必要があると思う。 ・60代以上の参加者の方がほとんどというのは、自然な傾向かとは思いますが、講座自体の主旨に世代間の意見、体験効果が出るような形（例えば年上の技術、技能を持った方が、同技術、技能を高める方に指導する「実習型」等）も検討出来るかと思う。 ・講師について、市民の方の中にも専門性を持つ方はいると思う。そのような方が講習、もしくは指導補助員として参加する事も一案と思う。 ・子育て世代、働いている若い世代にも、魅力ある講座の開発、託児や夜間開講など、チャレンジする価値はあるのではないかと。 ・地域の文化の担い手育成面でも重要な事業である。 						

令和元年度 笠間市教育委員会外部評価対象事業個別評価書

事務事業名	調理事業					
担当部署	おいしい給食推進室	事業費	笠間学校給食センター 177,659千円 岩間学校給食センター 107,040千円			
事務事業概要						
<p>学校給食は、発育期にある児童生徒にバランスの取れた食事を提供し、児童生徒の健全な発達に資するとともに、生涯にわたり望ましい食習慣の形成や生活習慣病予防の理解など、共同生活において基本的態度能力を育成する、食育および健康教育である。そのための衛生・安全管理や栄養管理の充実等に努め、安全な給食を提供する。それとともに、地域資源を活用した食育や地産地消に取り組む（地域の活性化、健康的な食生活の実現、旬と食文化への理解、生産者との結びつき等）</p>						
事務事業の目的と手段		指標の設定	H30実績	H30目標		
目的	①対象	小中学校児童・生徒・教職員等	⇨ 対象指標	笠間地区小中学校児童・生徒・教職員等数	1,975人	1,920人
				友部・岩間地区小中学校児童・生徒・教職員等数(米飯のみ対象)	4,282人	4,310人
				岩間地区小中学校児童生徒・教職員等数	1,202人	1,201人
	②事務事業の意図	安全で安心な学校給食の提供	活動指標	成果指標 食中毒発生件数	0件(笠間) 0件(岩間)	0件(笠間) 0件(岩間)
				年間給食回数	196回(笠間) 196回(岩間)	196回(笠間) 196回(岩間)
			給食従事者の研修・講習会参加回数	2回(笠間) 2回(岩間)	2回(笠間) 2回(岩間)	
外部評価委員会の点検・評価						
事務事業の目的及び達成状況を測る指数は適切か			適切 3名・概ね適切 1名・不適切 1名			
事務事業の現状把握及び課題の認識			適切 3名・概ね適切 2名・不適切 0名			
分析を踏まえて、論理的な方向性が選択されている			適切 3名・概ね適切 2名・不適切 0名			
今後の方向性			<input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり継続 3名 <input type="checkbox"/> 改善し、継続 2名 <input type="checkbox"/> 休止 0名 <input type="checkbox"/> 廃止 0名			
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・学校給食での安全管理は極めて大切である。食中毒などを起こさないことは当然であるが、もし起きてしまった時の危機管理を徹底していただきたい。 ・食育教育は近年特に重要になっているので、小・中学校の子どもたちに給食センターの実地見学なども検討していただき、給食が出来るプロセス等を知る<学び>も大切だと思う。 ・食品ロスの問題への取り組みも考えていただきたい。 ・食材、献立の努力をこれまでのようにお願いしたい。保護者に対してバランスの取れる食事のアピールや家庭との連携の視点も取り入れることも必要ではないか（献立やマナー、栽培活動、食習慣、調理法など）。 ・地産地消はとても良い事だと思う。 ・献立を子どもたちに考えさせるなど、さらなる工夫や充実が必要であると考える（例えば、郷土料理や世界の料理、バイキング（栄養バランスを自分で考える）、〇〇時代の給食、野菜の栽培など）。生活科との連携も検討してみてはどうか。 					

- 事業名が「調理事業」，また，事業内容や目的の大きな部分が学校給食と地域資源を活用した食育や地産地消と理解する。一方，教育振興基本計画における3つの指標のうち，2つは朝食摂取率であり，当該分野の指導の成果として掲げられているのは分かるが，上述の事業内容と目的の大きな部分を評価するものとしては再考が必要と思う。もう一つの指標についても同様の観点から，強化月間のみに限定せず，通年での実情が把握できるようにする方が良いと思う。
- 大きな調理器具やどのように調理されているか見学することは，食べ残しの面でも効果があるのではないか。美味しく，バランスの良い給食の提供を望む。

令和元年度 笠間市教育委員会外部評価対象事業個別評価書

事務事業名	適応指導教室事業						
担当部署	学務課	事業費	15,301千円				
事務事業概要							
<p>学校生活において友人関係等の悩みや集団生活に馴染めない等の理由から長期欠席をしている児童生徒に対して、学校とは別の「学びの場」を開設し、学習の援助を行いながら学校に復帰するための指導することを目的として設置した。</p>							
事務事業の目的と手段		指標の設定	H30実績	H30目標			
目的	①対象	不登校児童・生徒	対象指標	不登校児童・生徒	103人	80人	
	②事務事業の意図	長期欠席児童・生徒の集団生活への適応を促進させ、学校生活へ復帰できるよう支援	⇒	成果指標	指導教室入室者数	42人	40人
					復帰した児童・生徒数	17人	10人
				活動指標	指導教室設置数	3箇所	3箇所
				指導員配置数	8人	8人	
外部評価委員会の点検・評価							
事務事業の目的及び達成状況を測る指数は適切か			適切 1名・概ね適切 4名・不適切 0名				
事務事業の現状把握及び課題の認識			適切 4名・概ね適切 1名・不適切 0名				
分析を踏まえて、論理的な方向性が選択されている			適切 4名・概ね適切 1名・不適切 0名				
今後の方向性			<input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり継続 4名 <input type="checkbox"/> 改善し、継続 1名 <input type="checkbox"/> 休止 0名 <input type="checkbox"/> 廃止 0名				
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・若年層への取り組みとしては最も重要な事業であり、次世代を育成するためにも、この取り組みを充実させていきたい。 ・今後こうした教室を利用せざるを得ない子ども達が増えていくことが予想されるので、スクールソーシャルワーカーやカウンセラーの確保はしっかり行っていただきたい。 ・さらなる予算増も考えても良いのではないかと。人件費等の増額も必要であると考えます。 ・笠間市の将来や、各家庭、地域を考えても、とても大事な事業なので、常にいたわりと努力をお願いしたい。 ・笠間市内には有効な場所、組織があると思うので活用をお願いしたい。 ・早い段階からの対策を進め、各個人の将来を見据えた援助・指導をお願いしたい。 ・子ども総合支援センターにおける以下の点の検討が必要であると思う。 <ul style="list-style-type: none"> (1) 保護者相談、支援、(2) 保護者、教員の研修、(3) 支援員の充足、研修、(4) 卒業児童の相談、援助 ・設定されている指標は概ね適切だと思う。不登校の小学生が増加傾向（平成28年度から平成30年度で2倍弱）であり、一方で、中学生は減少傾向にあるため、この点の対応策を「今後の課題、方向性」に明示すると良いと思う。 ・不登校0%を目指すより、個々の状況に合った対応を望む。 ・保護者が自分を責めず、プレッシャーを感じすぎないように、保護者へのケア、フォローを厚くしてほしい。 ・学習以外を伸ばす取組も良いのではないかと。 						

令和元年度 笠間市教育委員会外部評価対象事業個別評価書

事務事業名	学力向上支援事業						
担当部署	学務課	事業費	40,035千円				
事務事業概要							
<p>ゆとり教育による学力低下が懸念され、学力向上は喫緊の課題となり、早急な対策が強く求められていた。平成18年度から実施してきた、「小中学校特色ある学校づくり事業」から23年度「学力向上支援事業」へ移行して、学力調査等に見られる実態や各校の学力に係る課題への対応として、各校が自主性を発揮し、学力向上に向けた活動を推進してきた。</p> <p>さらに、平成25年度より、非常勤講師を各校に配置し、複数教員が役割分担、協力しながら授業を展開し、児童生徒一人一人に寄り添い、確かな学力を身に付けさせるため、本事業を開始した。</p>							
事務事業の目的と手段				指標の設定	H30実績	H30目標	
目的	①対象	市内小・中学生（5月1日現在）		対象指標	児童数	3,703人	3,489人
	②事務事業の意図	⇨	非常勤講師の配置	成果指標	生徒数	1,871人	1,951人
					非常勤講師数	21人	22人
				全国学力調査小学6年生の平均正答率	61.2%	66.0%	
				全国学力調査中学3年生の平均正答率	63.0%	66.0%	
	活動指標	小学校数	11校	11校			
		中学校数	6校	6校			
外部評価委員会の点検・評価							
事務事業の目的及び達成状況を測る指数は適切か				適切 2名・概ね適切 3名・不適切 0名			
事務事業の現状把握及び課題の認識				適切 2名・概ね適切 3名・不適切 0名			
分析を踏まえて、論理的な方向性が選択されている				適切 2名・概ね適切 3名・不適切 0名			
今後の方向性				<input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり継続 5名 <input type="checkbox"/> 改善し、継続 0名 <input type="checkbox"/> 休止 0名 <input type="checkbox"/> 廃止 0名			
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・よく取り組まれていることが分かり、今後の事業の成果に期待したい。 ・全国学力・学習状況調査の結果を向上させるための施策の重要性は理解できるが、試験のための向上事業では意味がない。新しい学力観（学力の3要素）の実態に合った教育指導を進める工夫も考えていただきたい。 ・一番大切なのは子どもたちが生き生きと学び、主体的に<学び>に取り組める取り組みである。教え込みの学習ではなく、知識や技能を活用できる情報活用力の向上が重要である。 ・詰め込み型の授業（繰り返し問題を解く的な）も一方では必要であるが、何のために学ぶのかを理解し、努力して学んだことが身近な物事に含まれている発見的な楽しみを導き出せたら良いと思う。 ・（1）非常勤職員の数的、質的充実、（2）担任との連携の仕方、（3）研修の機会などを見直す検討をしていただきたい。 ・「今後の課題・方向性」で算数・数学に絞るという記述があるが、現行の記述ではこうした科目別の活動の成果は評価できないと思うので、この観点での見直しも一案と思う。 ・生涯学習課の事業である「寺子屋」との連携を検討することも出来るのではないかと考える。 ・現場に負担をかけ過ぎることなく適宜研修、フォローを入れつつ個々の子どもたちに関わってほしい。 ・クリエイティブな力、思考力などを育むこと、対話力など、学力だけで計れない「生きる力」の育成にも力を入れてほしい。 ・海外の学校では点数より伸び率で表彰する国があるが、点数だけに表れない部分にも注目してほしい。 						

評価事業に関する笠間市教育振興基本計画指標

(1) 評価番号1 図書館サービス事業

指標名	H28 基準値	H29 実績	H30 実績	R3 目標	具体的な取組
図書館利用新規登録者数	2,140 人	2,160 人	2,244 人	2,210 人	としょかん1年生事業で新1年生の登録を促進した。
図書館蔵書点数	582,995 点	575,849 点	587,439 点	653,000 点	利用者のニーズに対応できる資料の整理保存を実施した。
図書館資料案内件数(レファレンス)	6,007 件	7,887 件	6,480 件	5,500 件	分かりやすい検索・配置を整備した。
公式ツイッターフォロワー数	1,953 人	2,233 人	2,785 人	3,800 人	イベントや資料等に関する情報発信に努めた。
団体貸出数	9,942 冊	12,986 冊	14,025 冊	11,000 冊	資料の充実を図り、施設や児童クラブ等に資料の提供を実施した。
学校等への貸出点数	6,379 点	5,036 点	4,800 点	4,800 点	資料の充実を図り、授業に必要な資料の提供を実施した。
おはなし会・読書フェスティバル参加者数	2,368 人	2,194 人	2,250 人	2,300 人	定期的におはなし会を実施した。
年間50冊以上の本を読んだ児童の割合(小4~6年生)	68.4%	70.0%	72.0%	75.2%	学校との連携による児童の読書の習慣化を図った。
図書館入館者数	599,609 人	498,056 人	479,773 人	625,000 人	特集やイベント等を実施して入館者増加を図った。
ギャラリー利用団体数(稼働率)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	ギャラリーや関係資料提供により、各団体の活動を支援した。

(2) 評価番号2 東京オリンピック・パラリンピックホストタウン推進事業

指標名	H28 基準値	H29 実績	H30 実績	R3 目標	具体的な取組
1年間に運動やスポーツに関わった人の割合	—	30.98%	30.00%	50.00%	茨城国体、東京オリンピックを契機とした意識付け

(3) 評価番号3 学校体育施設開放事業

指標名	H28 基準値	H29 実績	H30 実績	R3 目標	具体的な取組
学校体育施設開放事業利用団体数	161 団体	172 団体	171 団体	180 団体	週報等による情報の周知
スポーツ施設利用者数	340,702 人	334,047 人	318,977 人	280,000 人	指定管理者との情報共有

(4) 評価番号6 公民館講座運営事業 (岩間)

指標名	H28 基準値	H29 実績	H30 実績	R3 目標	具体的な取組
公民館利用者数	160,000人	131,700人	143,061人	195,000人	各種講座の開設や学習機会、学習情報の充実、強化を図ることで、公民館利用者の増加を狙った。
公民館講座数	54講座	53講座	41講座	57講座	各種講座数の増加を狙った。
公民館講座数参加人数	4,500人	3,657人	3,486人	4,700人	各種講座への参加者の増加を狙った。

(5) 評価番号7 調理事業

指標名	H28 基準値	H29 実績	H30 実績	R3 目標	具体的な取組
地産地消強化月間(11月)における地場産農産物の給食への活用状況	72.2%	78.9%	85.7%	86.0%	学校給食に地元農産物や旬の食材を取り入れ、地域の食文化や農産物に対する児童生徒の理解促進を図った。
朝ごはんの摂取率(小学生)	94.1%	92.9%	92.6%	100.0%	生活リズムを整え、栄養バランスのよい朝食をとり、元気に登校するように指導した。
朝ごはんの摂取率(中学生)	88.7%	90.9%	90.2%	100.0%	

(6) 評価番号8 適応指導教室事業

指標名	H28 基準値	H29 実績	H30 実績	R3 目標	具体的な取組
不登校(30日以上)児童の割合 小学生	0.65%	0.83%	1.16%	0%	各教室(かしのひろば・もくせい教室・あたごのひろば)に指導員を配置し、長期欠席児童生徒を対象に学校生活への適応を促進させ、1日でも早く学校に戻るよう指導を行った。さらに、学校・関係機関等の連絡調整により、未然防止対策と教育相談を徹底し、不登校の早期発見・早期対応に向けた取組を行った。
不登校(30日以上)生徒の割合 中学生	3.96%	3.79%	3.21%	0%	
学校に行くのを楽しいと肯定的にこたえた児童(小6)	91.2%	85.9%	質問項目なし	95.0%	
学校に行くのを楽しいと肯定的にこたえた生徒(中3)	79.3%	80.1%	質問項目なし	85.0%	

(7) 評価番号9 学力向上支援事業

指標名	H28 基準値	H29 実績	H30 実績	R3 目標	具体的な取組
全国学力・学習状況調査 総合平均正答率 (小学校における全国との比較)	+1.6	-0.2	+1.1	+2.0	検討委員会を設置し、課題の分析をして対策を練った。 ・パワーアップ問題の作成と実施 ・授業改善プランの作成と実施
全国学力・学習状況調査 総合平均正答率 (中学校における全国との比較)	-2.2	-0.6	-0.3	+1.0	

教育委員会の活動状況

(1) 教育委員の選任状況（令和元年6月24日現在）

職名	氏名	備考
教育長	今泉 寛	委員任期 H30.6.24 ~ R3.6.23
教育長職務代理者	梅里 節子	委員任期 H28.6.24 ~ R2.6.23
委員	戸田 浩二	委員任期 H29.6.24 ~ R3.6.23
委員	鳥羽田 信	委員任期 H30.6.24 ~ R4.6.23
委員	吉崎 静夫	委員任期 R1.6.24 ~ R5.6.23

(2) 教育委員会会議の開催状況

平成30年度 教育委員会会議開催状況

	定例会	臨時会	教育委員協議会等
実施回数（回）	12	2	12
議案件数（件）	31	2	—
報告件数（件）	18	0	—

平成30年 4月24日（火） 第4回教育委員会定例会

報告案件

- 報告第2号 笠間市長選挙における職員の兼務（充当，事務従事）の協議について
- 報告第3号 笠間市立学校評議員の委嘱について
- 報告第4号 笠間市社会教育委員並びに公民館運営審議会委員の委嘱について
- 報告第5号 笠間市スポーツ推進委員の解職及び委嘱について

平成30年 5月15日（火） 第5回教育委員会定例会

審議案件

- 議案第16号 筑波海軍航空隊記念館の設置及び管理に関する条例の施行期日を定める規則について
- 議案第17号 平成30年第2回笠間市議会定例会提出議案に同意することについて

報告案件

- 報告第6号 笠間市教育支援委員会委員の委嘱及び任命について
- 報告第7号 笠間市教育支援委員会調査員の委嘱及び任命について
- 報告第8号 笠間市図書館協議会委員及び笠間市子ども読書活動推進会議委員の任命について

平成30年 6月26日（火） 第6回教育委員会定例会

審議案件

- 議案第18号 笠間市スポーツ推進審議会委員の任命について

報告案件

- 報告第 9 号 叙位叙勲の推薦について
報告第 10 号 学校歯科医の委嘱について

平成 30 年 7 月 24 日 (火) 第 7 回教育委員会定例会

審議案件

- 議案第 19 号 笠間市教育委員会事務局組織規則の一部改正について
議案第 20 号 笠間市私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の一部改正について
議案第 21 号 平成 31 年度小・中・義務教育学校において使用する教科用図書並びに小・中・義務教育学校特別支援学級（知的障害）において使用する教科用図書の採択について

報告案件

- 報告第 11 号 平成 31 年度 笠間市一般会計補正予算（第 2 号）について

平成 30 年 8 月 21 日 (火) 第 8 回教育委員会定例会

審議案件

- 議案第 22 号 平成 30 年第 3 回笠間市議会定例会提出議案に同意することについて

報告案件

- 報告第 12 号 叙位叙勲の推薦について
報告第 13 号 笠間市スポーツ国際交流員任用規則の制定について

平成 30 年 9 月 25 日 (火) 第 9 回教育委員会定例会

審議案件

- 議案第 23 号 平成 30 年度笠間市教育委員会事務局職員の人事異動について

平成 30 年 10 月 23 日 (火) 第 10 回教育委員会定例会

審議案件

- 議案第 24 号 笠間市英語指導助手就業規則及び笠間市外国語指導助手任用規則の一部を改正する規則について
議案第 25 号 笠間市文化財保護審議会への諮問について
議案第 26 号 笠間市指定文化財の指定解除について
議案第 27 号 平成 30 年第 4 回笠間市議会定例会提出議案に同意することについて

報告案件

- 報告第 14 号 高齢者叙勲の推薦について

平成 30 年 11 月 27 日 (火) 第 11 回教育委員会定例会

報告案件

- 報告第 15 号 茨城県議会議員一般選挙及び笠間市議会議員一般選挙における職員の兼務（充当，事務従事）の協議について

平成 30 年 12 月 18 日 (火) 第 12 回教育委員会定例会

審議案件

- 議案第 28 号 笠間市立小中学校閉校記念事業費補助金交付要綱の一部を改正する規則に

ついて

- 議案第 29 号 平成 30 年度笠間市教育委員会外部評価報告書について
- 議案第 30 号 笠間市指定文化財の指定について

報告案件

- 報告第 16 号 平成 30 年度 笠間市一般会計補正予算（第 5 号）について

平成 31 年 1 月 22 日（火） 第 1 回教育委員会定例会

報告案件

- 報告第 1 号 笠間市資料館運営委員の解嘱及び委嘱について

平成 31 年 2 月 15 日（金） 第 2 回教育委員会定例会

審議案件

- 議案第 1 号 笠間市教育委員会委員の辞職の同意について
- 議案第 2 号 平成 31 年第 1 回笠間市議会定例会提出議案に同意することについて

報告案件

- 報告第 2 号 叙位叙勲の推薦について
- 報告第 3 号 叙位叙勲の推薦について

平成 31 年 3 月 15 日（金） 第 1 回教育委員会臨時会

審議案件

- 議案第 3 号 校長の人事内申について

平成 31 年 3 月 18 日（月） 第 2 回教育委員会臨時会

審議案件

- 議案第 4 号 平成 31 年度笠間市教育委員会事務局職員の人事異動について

平成 31 年 3 月 26 日（火） 第 2 回教育委員会定例会

審議案件

- 議案第 5 号 笠間市立学校医及び学校歯科医の解職及び委嘱について
- 議案第 6 号 笠間市教育相談員の委嘱について
- 議案第 7 号 笠間市教育指導員の委嘱について
- 議案第 8 号 笠間市立学校評議員の委嘱について
- 議案第 9 号 市史研究員の委嘱について
- 議案第 10 号 笠間市資料館運営委員の委嘱について
- 議案第 11 号 地区の公民館長及び地区の公民館主事の任命について
- 議案第 12 号 笠間市教育委員会事務局組織規則等の一部を改正する規則について
- 議案第 13 号 笠間市私立幼稚園等特別支援教育費補助金交付要綱の廃止について
- 議案第 14 号 笠間市適応指導教室設置要綱の一部改正について
- 議案第 15 号 笠間市部活動指導員配置要綱の制定について
- 議案第 16 号 笠間市立学校における学校運営協議会に関する規則の制定について
- 議案第 17 号 笠間市立学校運営協議会委員の委嘱及び任命について
- 議案第 18 号 笠間市社会教育指導員の委嘱について

(3) 教育委員会会議以外の活動（各種会議・研修会・学校訪問等）

<p>平成30年4月</p>	<p>教職員辞令交付式 幼稚園・こども園及び小・中・義務教育学校入学式 笠間市文化連盟総会 笠間市教育研究会定期総会 茨城県市町村教育長協議会総会 関東ブロック B&G 地域海洋センター連絡協議会総会 笠間市スポーツ推進委員協議会総会 タブレット端末活用セミナー 笠間市子ども会育成連合会総会 幼児教育指導方針説明会 いきいき茨城ゆめ国体笠間市実行委員会 笠間市文化財愛護協会総会</p>
<p>5月</p>	<p>更生保護女性会総会 管内市町村教育委員会教育長等会議 関東地区都市教育長協議会総会 笠間市 PTA 連絡協議会総会 岩間地区市民の会総会 笠間史談会総会並びに研究発表会 笠間少年少女合唱団定期演奏会 笠間市総合体育大会 笠間市社会教育委員会議・公民館運営協議会 さわやかマナーアップあいさつ運動 笠間市スポーツ少年団総会・講演会 笠間市文化財保護審議会 第56回全日本合気道演武大会 NPO 法人茨城県食育協会設立記念講演会 第1回市町村教育委員会教育長会議 茨城県市町村教育委員会連合会総会 第68回社会を明るくする運動笠間市推進委員会 いじめ不登校協議会</p>
<p>6月</p>	<p>福ちゃんの森オープニングイベント 筑波海軍航空隊慰霊の集い 教科用図書選定協議会 スターツシニア大会ジュニアレッスン 笠間ブロック明るい社会づくりの会定期総会 校長園長研修会 第1回教育支援委員会 福原学童野球大会 女性合唱団コール・ポップ演奏会 第18回全国こども陶芸展 in かさま審査会 長谷川幸介先生講演会 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会茨城県推進会議第2回総会</p>
<p>7月</p>	<p>第2回管内市町村教育委員会教育長及び代表校長会議 学校警察連絡協議会 第4採択地区教科用図書選定協議会 笠間市英語インタラクティブフォーラム 笠間地区笠間小支部子ども会球技大会 第100回全国高等学校野球選手権記念茨城大会 社会を明るくする運動キャンペーン</p>

	<p>トップリダーセミナー 英語教育連絡協議会 ゴルフ少年男子関東ブロック大会 第 28 回笠間市長旗争奪リトルリーグチビッコ大会 スナッグゴルフ全国大会 茨城県市町村教育長協議会夏期研修会 茨城県社会教育主事会総会 第 13 回笠間市小学校相撲大会</p>
8 月	<p>クレー射撃競技関東ブロック大会 第 13 回笠間市教育研究会研究発表会 全国高等学校合気道演武大会 いじめ防止&不登校対策会議 笠間市子ども会球技大会 スナッグゴルフ親子大会 第 73 回国民体育大会関東ブロック大会総合開会式 戦没者追悼式 第 33 回笠間市野球連盟会長杯争奪中学校新人野球大会 茨城国際音楽アカデミーin かさま実行委員会</p>
9 月	<p>中学校体育祭, 小学校運動会 スポーツ推進審議会 市民センターいわまりニューアル記念式典 臨時いじめ防止対策委員会 茨城国体カウントダウンイベント 第 21 回友部ライオンズクラブ杯近郊少年野球大会</p>
10 月	<p>茨城県市町村教育委員会連合会・市町村教育委員会研修会 平成 30 年度笠間市校長研究発表会 第 13 回市民剣道大会 こども園運動会 茨城県中央地区 3 ブロック合同指導者研修会 市町村教育委員会研究協議会 (第一ブロック) 管内市町村教育委員会教育長会議 友部高校文化祭 ふるさとまつり小学校相撲大会 第 37 回茨城県合気道演武大会 第 44 回笠間市民美術展覧会表彰式 笠間高校創立 110 周年記念式典 総合防災訓練 茨城県精神保健協会記念講演会 第 2 回市町村教育委員会教育長会議</p>
11 月	<p>水戸市長旗第 20 回東日本軟式野球選手権大会 (国体リハーサル大会) 福原地区運動会 第 4 回歴史フォーラム 第 11 回笠間市近郊中学生ソフトボール大会 第 4 回管内市町村教育委員会教育長等会議 トップリダーセミナー NITTAIDAI×自治体フォーラム 2018 笠間市合唱祭</p>
12 月	<p>第 31 回笠間市長杯バスケットボール大会 第 32 回茨城県少年少女合唱祭</p>

	<p>幼保小接続のための研修会 かさま陶芸の里ハーフマラソン大会 石岡市新庁舎竣工式典 笠間市民合唱団定期演奏会</p>
平成31年1月	<p>消防出初式 笠間市成人式 全国ICT教育首長サミット&日本ICT教育アワード 水戸地方教育委員会・教育長協議会懇親会 県下中学校交歓笠間市駅伝大会 スポーツ推進委員懇親会 笠間市教育研究会学校事務研究部研修会 いきいき茨城ゆめ国体笠間市実行委員会 第5回常任委員会</p>
2月	<p>第60回記念学校ダンス発表会 笠間市家庭教育学級実施報告会 茨城県市町村教育長協議会冬季研修会 2018年度本田記念財団表彰及び助成金交付式 茨城県・笠間市合同図上型防災訓練 第3回いじめ防止対策委員会兼笠間市不登校対策会議 第15回茨城国際音楽アカデミーinかさま第2回実行委員会 笠間市教育研究会教育実践発表会 小薬正男氏講演会 国体ゴルフ競技応援（のぼり旗贈呈式） ホストタウンサミット2019 五色百人一首県大会 「2018陶芸の里かさま大撮影会フォトコンテスト」表彰式</p>
3月	<p>畑岡奈紗プロ・パブリックビューイング 笠間地区公民館芸能発表会 デラルツ・ツル会長来庁 女声コーラスマーガレット40周年記念コンサート かさま陶芸の里ハーフマラソン実行委員会 第15回茨城国際音楽アカデミーinかさま開講式 幼稚園卒園式及び小・中学校卒業式 茨城国際音楽アカデミーinかさま オリンピック・パラリンピックトークショー 合気道スポーツ少年団昇級授与式 スチューデント・コンサート ジュニアマーチングバンドコンサート 教職員辞令交付式</p>

笠間市教育委員会外部評価委員会設置要綱

平成22年9月17日
教育委員会告示第16号

(設置)

第1条 地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号)第26条の規定に基づき、笠間市教育委員会(以下「教育委員会」という)の権限に属する事務の管理及び執行の状況について、第三者による点検及び評価を実施することにより、教育行政に対する透明性を確保するとともに、市民への説明責任を果たすため、笠間市教育委員会外部評価委員会(以下「委員会」という)を設置する。

(所掌事務)

第2条 委員会は、教育委員会が実施する施策や事業等の点検及び評価を行う。

(組織)

第3条 委員会は、5人以内の委員で組織する。

2 委員は、教育に見識を有するものの中から教育長が委嘱する。

(委員長及び副委員長)

第4条 委員会に委員長及び副委員長を置く。

2 委員長は、委員の互選により選出する。

3 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。

4 副委員長は、委員のうちから委員長が指名する。

5 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(任期)

第5条 委員の任期は2年とし、再任を妨げない。

2 委員に欠員が生じた場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

(会議)

第6条 委員会の会議は、委員長が招集し、会議の議長となる。ただし、最初に行われる会議は、教育長が招集する。

2 委員会は、委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない。

3 委員会の会議の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

4 委員長は、必要があると認めるときは、委員会において関係者の出席を求め、意見又は説明を聞くことができる。

5 委員会の会議は、公開とする。ただし、委員会の決定があったときは、非公開とすることができる。

(庶務)

第7条 委員会の庶務は、学務課において処理する。

(委任)

第8条 この告示に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が委員会に諮って定める。

附 則

この告示は、公布の日から施行する。